

令和7年8月30日

智頭町議会議長 安道 泰治 様

智頭町議会議員 仲井 荃
波多恵理子

議員派遣結果報告書

令和7年7月18日に決定された議員派遣について、下記のとおり報告します。

記

1. 派遣名

令和7年度鳥取県町村議会女性議員研修会

2. 期 日

令和7年8月4日（月）

3. 場 所

東伯郡三朝町山田180番地 「溪泉閣」

4. 目 的

県内町村議会の女性議員を対象に、町村が直面している課題の解決を図るために必要な幅広い情報や知識を習得するとともに、県内女性議員同士の情報交換及び連携強化を図ることを目的として開催される研修会に参加することにより、今後の議員活動に資する。

5. 内 容

演題 「未来に向かって発言・調査の質向上
～今までの当たり前をスクラップ～」

講師 茨城県取手市役所総務部情報管理課長
早稲田大学デモクラシー創造研究所招聘研究員
岩崎 弘宜 氏

演題 「米子市の水質管理と水道管の老朽化対策について」

講師 米子市上下水道局
水道設計監理課長 長澤 伸也 氏
水質管理課長 山本 剛 氏

6. 所 感 等

今回は二部構成の研修会であり、午前中に岩崎氏を講師に迎え「未来に向かって発言・調査の質向上を～今までの当たり前をスクラップ～」と題しご講演いただいた。

今までを一旦リセットし、「このままでは議会の・自らの信頼向上にはならない」という意識を持ち、新しいものを「築く」「気づく」脳内をチェンジすることの必要性を教えていただいた。独りよがりにならずに、自分の考えを反対側からも見て、調べて議会に臨むことや、一般質問だけに力を入れるのではなく、議決機関の構成員の一人＝表決権を行使する一人の議員としての調査を充実させて「議会」として討議・提言をして町政発展・課題解決していきませんかとの問いかけをいただいた。一般質問に多くの時間使っているのは事実であり、今まで以上に議案の検証にも力を入れていくことで議員力・議会力を高めていかなければならないと強く感じた。

午後は、市の職員の方に米子市の水質管理と水道管老朽化対策についてご講演いただいた。智頭町、東部広域に置き換えても参考になるお話を伺った。老朽管の更新基準年数が100年になるものもできていることとか、経費削減のための水質検査業務の広域受託について学ばせていただいた。米子市が西部6町の水質検査を行うことにより、高い経済効果が確認され、早期対応、サービスの向上も期待できるとのことであった。東部の広域化も今後検討されると思う。東部の源流域の一つである智頭町として、下流域の水の確保のため、森林、農地を守っていく義務があると改めて思った。

年に一度開催される女性議員の会は、他町村の女性議員の活躍ぶりに刺激をいただき、自らを鼓舞できる貴重な時間であり、町政発展のために役だてていかなければと強く感じた。